



## 7/9(日) 国際交流員ジェレミーの家族とその生活を紹介

国際交流課で、外国人への対応や広報業務、子どもたちと本の読み聞かせ等をしているジェレミー・エックスタインさん。そのジェレミーさんの家族が来沖し、「国際交流員の家族と話そう!」がハーモニーセンターで開催されました。

会場では、ジェレミーさんが通訳をしながら家族を紹介し、家族団らんの写真を交えてアメリカでの生活を伝えました。会場にいた大人子どもは「すごい!」と、異国の雰囲気や憧れていました。最後の質問タイムでも、学校生活についてやジェレミーさんの家族の仕事についてなどの質問がされ、盛んな交流が行われました。



## 7/7(金) 新しい屋富祖の歴史が始まる

「屋富祖地区学習等供用施設」が新しく生まれ変わり、その落成式が7月7日に行われました。

昭和50年から平成28年まで40年以上にわたって、地域住民の生活を支えてきた前施設は、老朽化によって塗装の剥離や雨漏りなどが発生しました。そこで沖縄防衛局の補助金を活用して、平成28年に改築工事が着工し、今年の4月25日に完成しました。

屋富祖自治会長の松田勝夫さんは緊張しながらも「周りの皆様から大きな協力をいただき、本当にうれしいです。大事に使っていききたいです」と満面の笑顔で挨拶しました。



## 7/3(月) 熱い思いを自分の声で

第31回「浦添市少年の主張大会」がハーモニーセンターで行われました。市内各中学校代表10人が真っ直ぐな目でそれぞれの主張を力強く述べ、会場の人たちはうなずきながら熱心に聞き入っていました。

「世界を平等に考える力」を発表した松田佳子さん(神森中2年)が最優秀賞、嘉味田凛乃さん(仲西中3年)と照屋佑喜仁(港川中2年)さんが優秀賞に選ばれました。松田さんは「自分たちで考え他人を尊重できる力を持っていてほしいという思いを込めて発表した。今度も最優秀賞を狙っていききたい」と意気込みを語りました。3人は9月8日に行われる第32回「沖縄県少年の主張・那覇地区大会」へ出場します。



## 7/18(火) 防災情報を素早くお届け

地震や風水害などが起こったとき、市民の安全に努められるようFM21株式会社と「浦添市防災情報通信設備の設置及び維持管理に関する協定書」を結びました。

この協定は防災のための通信機器を設置し、緊急の場合は通常の放送中であっても、防災情報を優先して流すというもので、市役所からも直接情報発信することが可能になります。

市は緊急防災情報の発信をできるようにすることで、災害時に市民が必要とする防災情報を新たな手段で素早く届けます。



## 7/10(月) さわやかな音色が響く

7月10日は指笛の日です。それにちなんで、浦添市役所1階ロビーで「指笛王国おきなわ」による指笛演奏会が今年も行われました。

総勢15人で行われた演奏会では合計9曲を披露しました。ソロ演奏や盲導犬も参加しての演奏、全盲の国吉政淳さんのパフォーマンスもあり、響き渡る美しい音色にその場にいた市民は釘づけでした。

毎年、指笛の日を記念として市役所で行われる指笛演奏会にあなたも来年市役所に足を運び、ご覧になってみませんか。



## 7/6(木) 海外にはばたく中学生たち

「平成29年度浦添市中学生海外短期留学生派遣事業」に選ばれた中学生を激励するための結団式が、市役所9階で行われました。学校関係者や保護者が見守る中、「浦添市の代表として、しっかりと地元の良さを現地の人に伝え、そして学んでください」と市長や教育長が激励しました。中学生もそれに応え、それぞれしっかりと決意表明しました。

神森中学校2年生の知念由喜乃さんは「現地の人や子どもたちとスキンシップをとりながら、いっぱい写真を撮り、料理をふるまったりと、やりたいことと学びたいことがたくさんあります」と、留学をとても楽しみにしている様子でした。



## 7/6(木) 西海岸で大型施設の建設始まる

浦添市西海岸に2019年オープン予定の県内最大級ショッピングセンターの起工式が執り行われました。

式には、株式会社サンエーや株式会社パルコ関係者他、設計・管理・施工業者の関係者らが参列し、計画通りの安心・安全な起工・竣工を祈願しました。株式会社サンエーの上地社長は「地元のお客様に新しさや豊かさを届けたい」と述べ、県内初進出となる株式会社パルコの牧山社長は「2年間待ち遠しいと思うような事業にしていきたい」と述べました。

このショッピングセンターはユナイテッド・シネマの進出と共にすでに新たな浦添市のスポットとして大きな注目を集めています。

話題がいっぱい!  
なかゆくい